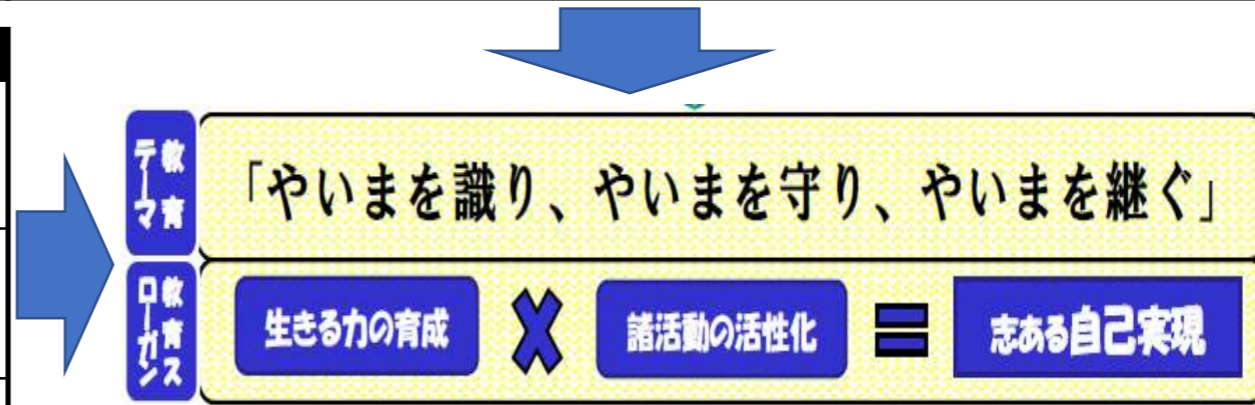


1 教育 目標	(1)平和を希求し、民主的な主権者としての自治能力を育成する。	2 努力 目標	(1)進路指導の充実：志ある自己実現(主体的な学びの確立)
	(2)自他の生命と人権を尊重し、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を育成する。		(2)生徒指導の充実：自律できる生徒
	(3)幅広い知識と教養を身につけ、国際社会・情報社会で活躍する能力を育成する。		(3)魅力ある教育活動：「やいまを識り、やいまを守り、やいまを継ぐ」教育活動
	(4)個人の価値を尊重し、自主及び自立の精神を養い、勤労を重んずる態度を育成する。		(4)教職員の資質・能力の向上：学び続ける教職員、高大接続改革への対応等
	(5)主体的に社会の形成に参画し、その発展と振興に寄与する態度を育成する。		(5)教育環境の整備と学校事務の適切な管理運営：学習環境の充実と円滑な事務処理
	(6)郷土の自然と歴史を愛し、伝統と文化を尊重し、その継承と発展に寄与する態度を育成する。		(6)開かれた学校づくり：保護者・地域・関係機関との連携強化

めざす学校像：師弟同行	めざす生徒像：学徳、進取、雄飛	めざす教師像
1 生徒が安心して明るく生き生きと活動する学校	1 時代の変化に対応できる確かな学力と豊かな人間性を備えた知・徳・体の調和の取れた生徒[学徳]	1 自己研鑽に努め、生徒の個性や能力を伸ばし、生徒の心に灯をともし教職員
2 教職員が教育活動にやり甲斐を感じる学校	2 何事も自主的・主体的に取り組むとともに、協働精神に富み創造性豊かな生徒[進取]	2 保護者や地域社会との連携・協働、教職員間の連携・協働を意図的に取り組む教職員
3 保護者や地域社会の期待に応える学校	3 郷土を愛し、社会発展に貢献するよう自己実現を目指す生徒[雄飛]	3 本校の課題や諸問題に対し、組織的・継続的な取り組みをする教職員



()内は人数

No	努力目標(Plan)	状況(Do)※ ()内は昨年度	◎成果・▲課題(Check)	R3目標値	進捗状況	関係者評価
1 進路 指導 の 充実	① 協働体制で組織的・継続的な進路指導の充実に努め、生徒一人ひとりの希望進路実現を図る。 ② 三点固定（起床時間・家庭学習開始時間・就寝時間）を推進し、主体的な学習習慣の確立を図る。 ③ 高大接続改革に関する情報収集とその周知に努め、特に「高校生のための学びの基礎診断」と「大学入学共通テスト」に関する取組を強化する。	R3進路決定率90.1%(91.2%)	◎3月10日現在の進学186名、就職13名 ▲進路希望の早期決定に取り組む必要がある。	95%以上	C	A(2)
		在籍率99.1%(99.7%) 卒業率99.1%(100%)	◎高校入試結果分析及び進路追跡調査で進路指導の充実に努めた。 ▲問題を抱えている生徒に対しては、早期に支援を行う必要がある。	100%		B(3)
		自学学習ツール(ｽﾀｼﾞｱﾌﾟﾘ)の導入 家庭学習1日平均1時間以上48%	◎自宅待機・臨時休校時等の学習状況確認、支援が図られた ▲家庭学習習慣の定着化及び基本的な生活習慣の確立の取り組み強化	利用促進 2時間以上	C	B(4) C(1)
2 生徒 指導 の 充実	① 委員会活動の活性化させ、高校生としてのマナー（携帯電話や交通ルール等）の向上を図る。 ② 手帳等の活用で生徒の自己管理能力を育成し、勤怠状況の改善と高校生としての基本的な生活習慣の確立を図る。 ③ 部活動については、その意義と教育課程との関連に留意し、適切な活動・運営に努める。	スマホ預かり指導41件(37件)	◎SNS対策委員会の立ち上げ及び生活委員会による交通マナー週間の実施により、生徒のマナー意識の向上が見られた	15件	C	B(3)
		自転車接触事故4件(7件)	▲学校、家庭及び地域、関係機関と連携した気運醸成の取り組みが必要である。	0件		C(2)
		出席率97.8%(98.1%)	◎皆出席者232名	99%以上	B	A(3)
		SHR遅刻数742回(794回)	◎家庭連携の遅刻指導により、R1年度より減少傾向が見られる	750以下		B(2)
		部活動加入率75.4%(70.7%)	▲部活動に関する活動方針の更新	80%以上	A	A(4)
		九州・全国大会出場(17・9部門)	◎男女ソフトテニス、郷土芸能部、生物部、放送研究部、カラオケ部、英語発表部門で全国大会出場	全国大会出場		B(1)

No	努力目標	状況(Do)	◎成果・▲課題(Check)	R3目標値	進捗状況	関係者評価
3 魅力ある教育活動	① 学校全体として教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立を図る。	職員研修の実施(3回)	▲教育課程委員会、学力向上対策委員会、キャリア教育委員会による協働体制を構築し、学びの保障及び教科横断的な取り組みの強化。	実施	A	A(5)
		進学重点拠点校及び生き生き活性化推進事業の研究校指定	◎県外先進校視察(2校)、校内研究授業・授業研究会等を通して、教育計画の更新及び授業改善に努めた。	研究報告		
	② 学校評議員制度や学校評価を活用したPDCAサイクルを機能させ、学校経営及び教育活動の改善を図る。	年3回の実施	▲学校評議員会における意見及び学校評価を生かして、進路早期決定及び安全教育の取り組みを強化する必要がある。	実施	A	A(5)
		③ 新高等学校学習指導要領の実施に向けた諸条件の整備を図る。	R4入学生教育課程の編成	◎令和4年度入学生教育課程の編成	編成	A
観点別学習状況の評価内規整備	▲R4年度における観点別学習状況の評価の効率的な導入		内規整備			
4 向上教職員の資質・能力の	① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。	進学重点拠点校事業の実施	◎校内研究授業及び授業研究会を企画実施	指導案共有	B	A(5)
		生き生き活性化事業の実施	◎LHR年間計画に関する職員研修を実施 ◎キャリア教育全体計画、特別活動及び道徳教育活動の改訂	策定		
	② 授業を大切にし、基礎基本の定着と言語能力の育成に努め、成績不振者減と成績上位者増を図る。	成績不振者35名(28名)	◎英数国で習熟度別展開授業を生かし基礎基本の定着 ▲学習保障に係るオンライン授業の充実	15名以内	C	A(1) B(4)
		成績上位者159名(191)	◎各種検定や模試に対する向上が見られる ▲教科書内容の指導充実に向け、年間指導計画及びシラバスの見直しを適宜実施	240名以上		
	③ 校務に支障のない範囲で教職員研修と研究を奨励し、教育の実践「図南翼」を発刊する。	図南翼17集の発刊	◎生き生き活性化事業を通して、図南翼を発刊	発刊	A	A(4) B(1)
進学重点拠点校に係る研究授業		◎先進校視察に教諭2名派遣、難関大学教育セミナーに職員1名派遣	年3回以上			
5 教育環境と学校事務	① 危機管理体制の点検と周知、定期的な教育環境の点検・整備を図る。	防災訓練の実施	▲防災(津波・火災)訓練を通して防災危機の点検及び機器対応体制の点検を計画的に実施する必要がある。	実施	A	A(4) B(1)
		感染症対策ガイドライン見直し	◎学寮危機管理マニュアルの改訂	策定		
	② 学校図書館の充実、学校施設・設備とICT環境の整備など教育環境の整備・充実を図る。	電子黒板の固定化とスクリーンの取り替え	◎全HR教室へ電子黒板及びスクリーンを整備	整備	A	A(5)
		学寮へのwi-fi環境整備	◎学寮におけるWi-Fi環境整備	整備		
③ 事務処理の迅速かつ的確化を図り、私費会計の適正化、学校勤務管理システムの適切な運用を推進する。	システム運用の更なる改善	◎留守番電話機能の導入 ◎時間外長時間在校勤務者11名(昨年18名)	適正運用	B	A(3) B(2)	
	6 開かれた学校づくり	① 学校の教育情報を適切に発信し、PTA及び他団体との連携を深め、保護者・地域に信頼される学校を目指す。	地域懇談会(5地区)・レク大会実施	◎地域懇談会を通して、学寮における教育環境改善に繋げた ◎職員・生徒・保護者によるレク大会を実施	実施	A
八高P合同研修会の実施			◎合同研修会を通して「子供への効果的な声かけ」について学習を深めた	実施		
② 盛岡第四高校との姉妹校交流事業を推進する。米国交流事業の実施について検討する。		交流会実施	◎盛岡第四高校とオンラインによる交流会を企画実施	実施	B	A(1) B(4)
	通常の交流活動再開への取組	▲次年度交流活動再開に向け、日程調整が必要である。	企画			
③ 創立80周年記念事業(2023年度)に向けた準備を行う。	期成会立ち上げに向けた準備会開催	◎期成会準備委員会(3回)を通して期成会立ち上げ	実施	B	A(2),B(3)	

※ 学校関係者評価基準 A:達成できている B:概ね達成できている C:あまり達成できていない D:達成できていない

※ 進捗状況基準 A:順調(90%以上) B:概ね順調(75%以上~90%未満) C:やや遅れ(60%以上~75%未満) D:大幅遅れ(60%未満) E:未着手